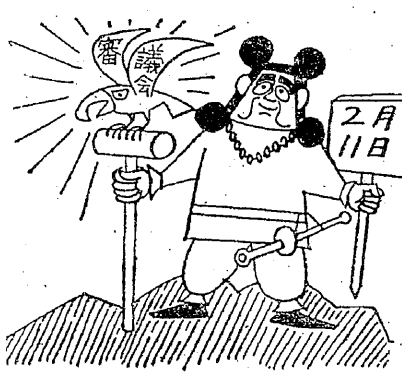
（三）第802号　昭和27年9月25日 第三種郵便物認可　　みいけ　　（毎月1日、16日）　　昭和41年6月16日（木）

紀元節の復活めざす

衆院で祝日法可決 建国記念日を設定

紀元節が戦後二十一年ぶりに日の目をみようとしている。核潜水艦スヌーク号が横須賀に入港するなかで、与野党の攻防を展開した紀元節復活法案（国民の祝日法改正案）は、自民、社会、民社三党の話し合いがつき、六月七日の衆院本会議で修正可決された。これで新しい祝日として「敬老の日」（九月十五日）「体育の日」（十月十日）がことしからスタート。問題の「建国記念の日」は新設の審議会で日付け（自民党は旧紀元節の二月十一日を主張）を検討して来年から実現ということになりそう。昭和三十二年、自民党の有志議員が〝紀元節復活〟をめざして法案提出以来九回目である。

旧紀元節の二月十一日は神武天皇即位の日とされているもので、天皇中心の神話の復活である。その制定は明治五年。当時全国に続発した農民一揆（いっき）をおさえ、天皇をいただく国家を強めようとして明治政府が考え出したものである。その年には陸海軍二省が設置され、翌年には徴兵令が発布された。



〝建国記念の日〟 審議会という金のトビで 国民の目をくらますんだな？

一二月十一日

フランスもアメリカも「建国の日」は独立記念日であり、社会主義国のそれは革命記念日である。日本だけホコリをはたいて天皇の神話を持ち出すとは。歴史学者の井上清氏は「いっそのこと、〝軍国主義をさかんにする日〟と名のったほうがよかろう」といっている。ズバリである。

文部省の全国一斉学力テストは 絶対中止させよう

市教組　石川保

愛媛県では

六月十七日号の「週刊朝日」に「ふるさとを行く」で、大江健三郎氏が愛媛県のことを書いておりました。内容は「学力テスト」のことです。私たちは、文部省がいう学力テストについて、これが教育内容の国家統制であり、教育基本法に違反し、これが強行されてくると、現場にへい害がおこることを、昭和三十六年から主張してきました。そのへい害が、具体的にあらわれているのが、これに警いてあります。

今年の四月に大阪地裁が「学力テストは、文部省の権限をこえて行政権力で不当に教育に介入し、支配するものであり、これは教育基本法に違反する」と判決がでました。さらに五月末には、北海道の旭川地裁が「学力テストは教育行政法の基本理念に違反する」と判決を出しています。しかし、こうした大勢に逆行して、愛媛県では、公然と学力テストのための補習が行なわれています。また暗闇のなかでは、できの悪い生徒をテストに欠席させるマビキや、教室内の要所、要所に点々と答を教えていくタウエなどということがおこなわれているのです。

常識では考えられない

こうして行なわれた学力テストの結果が、愛媛が一位、香川が二位などと発表されますと、実施の方法がどうであれ、点数と順位だけが重視されます。そしてそのかげで、子どもや教師や親がどれほどいためつけられていることでしょう。愛媛県ははなれ島や辺地の学校が多いのは全国で四位です。小学校の平均点が九十八点であったことについて県の教育長は「練習練磨が極に達すると、常識で考えられないことがおこる」という発言に至っては、あいた口がふさがりません。

テストのうらに

普通「学力テスト」といわれるものには四通りあります。

①教育テスト（日常教師が子どもの教育上必要と認めて行なう）
②採用テスト（高校入試、会社の入社試験などえらぶためのもの）
③実態調査（知能テスト、その他実態をしらべるもの）
④政策テスト（政府が権力で実施するテスト）

文部省のいう学力テストは、④に当ります。私たちは、子どものためになるものでなく、本質的にも、法的にも問題があると指摘してきました。学力テスト日本一のかげにあるものは、テスト回数も日本一、テストブック使用量も日本一、父母の教育費負担も日本一近視も日本一、日教組分裂者も日本一、教師の月給が安いのも日本一、子どもの非行率も三十八年二位、三十九年一位です。

自民党のねらい

昨年福岡県が全県中止したことにより、自民党は県議会でつき上げてきました。そして、福教組攻撃を一年がかりで行ないました。これは、来年の地方選挙にむけての勢力拡大です。だから、彼らが学力テストを実施させるというのは、本質や法問題でなく、権力を使って実施させたという、実績だけをめあてにしているのです。私たちは、革新県政を守るために、今年の学力テストは中止させねばなりません。三池労組および主婦会のみなさん、学力テストのもつ真のねらいを充分理解していただき、ご支援をお願いします。

国際労働短信

ギリシャ鉄道スト勝利

賃上げなどの要求で五月二十五日以来十日間にわたってストを続けていたアテネその他の大都市の鉄道労働者の斗争は六月三日勝利のうちに終わった。政府当局はこのストを弾圧するためにだした強制就業令の撤回、賃上げなどの全要求を受諾した。

米教師がスト禁止法 けってスト

米国ミシガン州のデトロイト、フリント両市の教師一千人余りは賃上げを要求して六月二日ストを行なった。これらの教師は州のスト禁止法および州知事の警告をものともせず、九十余りの学校にピケを張った。このため多くの学校が休校または半日授業をよぎなくされた。

職場短信

〇・〇一分の賃金カット

わずか一秒という史上最低？の賃金カットをやったお役所がある。群馬県渋川市にある建設省利根川水系砂防工事務所がそれ。病気で休んでいる阿高さん宅へ乗り込んで〝休暇願〟を強要した柿爪課長と古谷課長に、町田君が「そんなことをするな」といったことで〇・〇一分の賃金カット（六月一日）。翌日、それを追求するとこんどは〇・〇三分の賃金カット。職場では「なにもしないでブラブラしている課長、係長など弾圧屋こそ、賃金カットされるべきだ」と反撃している。

ほやほや訪問 ⑫

四山　淵之上勝見さん（26） 公子さん（19）

まだモメている

前号で紹介した酒本さん夫妻と同時に披露宴をした相手が、ここに紹介する淵之上さん夫妻である。

淵之上さんは四山支部の婦部長として活躍中の活動家で、奥さんの公子さんは四山支部立山労仂部長の妹さんという、労仂運動をするためにできたようなカップルである。

四月二三日の荒尾市労仂会館での盛大な披露宴のあと、現代版ヤジキタならぬ四人の新婚旅行のようすは、下の写真からもご想像いただけよう。

〝骨まで愛して……〟

勝手にやって下さい……。

〝身のおきどころがない〟

淵之上さん夫妻の一家は、現在はお母さん、弟さんと四人ぐらし。新婚の二人のようすを、お母さんに聞いてみた。

「それはもう、仲がよかですよ。勝見が行けば公子さんがついて行く、公子さんが行けば勝見がついて行く。そばにいる者がしっかりやきもちをやかされるので〝みいけ〟に大きく書いてください……」

だけど……

ここで公子さんは、つぎのように反論した。「それは骨まで愛してダモン」読者の皆さん！この新婚サンの雰囲気、ご想像下さい。

これはまた、誰れの新婚物語かわからなくなった。

お母さんの話はつづく

「どこでも二人で行くとですよ。勝見が行けば公子さんがついて行く、公子さんが行けば勝見がついて行く。そばにいる者がしっかりやきもちをやかされるので〝みいけ〟に大きく書いておくれ。あんまり甘いので、私たちの身のおきどころがなかごたるですヨ。公子さんもヒル間からカツミさん、カツミさんというし、勝見も坑内で仕事ながらヒロ子、ヒロ子といいよるでしょうタイ」

しかし、夫妻の仲がいいのはよいことだし、私たちも若いころはそうだったのだから……ということは……。

はじめから
この茶目気ぶり……

火花

宮浦支部定年退職者
中村くにひさ

――木や草が薬を落し、それを肥料として生長していくように、私は私なりに労仂者として正しい人間として、世の中のため、みんながしあわせな生活をいとなめる世の中をつくるために、いわばその基礎となるコンクリートの一つのバラスの役目を果せばそれで満足です、死んでも悔いはありません、そのような気持で苦しい労仂をつづけています。

千拓工事にしろ、柳川の護岸工事にしろ、ただ仂いてその日の賃金を得るのみのことでしたら、私はどんなに疲労したかしれません。干拓の工事は五年後には入殖者があり、一人あて四ヘクタール（四町）の田地ができあがり、黄金の穂波が目に浮かぶのを想像して、どんなに寒い日も、少しも苦にすることなく自転車で頑張りつづけました。

いま、私が従事している水道工事も、私たちのような労仂者がいなくては完成しません。

ほんとうは、それを設計する技士も係の人も差別なく一丸となってやるべきことと思いますが、会社、請負業者という仕組みの中間は、いつまでたっても私たちは人間としての生活はいとなめないと頑張っています。

まいばん酔うてくる監督がねると蛙が鳴く

（くにひさ）

この句の監督は、実は責任者のことです。この人がせっかちで、なにかにつけ小言をいうんですが私は私なりにガンと一発かましてやりますが、さすがの彼も黙ってしまいます。私はときに残業も拒否します。

あなたが三池労組員として、炭鉱夫として誇りをもっておられる気持、とうとく思います。

私も、三池のたたかいをたたかい抜いた労仂者として、人間としての誇りを持っています。死ぬまで、差別のない平和でしあわせな世の中をつくりあげるまで斗いつづけます。

仲間たちと話しながら、ヒザの上で書きました乱筆、お許しを乞う。

昭和四十一年六月五日
高槨　竜生　様